

第5回協働推進委員会記録

日 時	平成 28 年 2 月 15 日（月） 18:30～20:30
会 場	豊明市役所東館 3 階政策審議室
出席者	委員：青山孝司、天野ゆかり、糸魚川幸江、沖村千里、小池田忠、小島博司、新保祥代、羽田道信、濱田堯、樋口正紀、三矢勝司、矢澤久子、山崎恵美子（以上 13 名） 学生オブザーバー 3 名 豊明市：市民協働課長、市民協働課協働推進担当係長、協働推進係職員（1 名）

議 事

1. 委員長あいさつ

(1) 前回議論のふりかえり

- ・資料 1「第 4 回協働推進委員会記録」により、前回会議の内容を確認した。

2. 協議事項

(1) パブリックコメント結果と意見対応について

- ・資料 2 に基づき事務局より説明をし、内容を確認し、原案のとおりとすることを確認した。

(2) アンケート結果報告について

- ・資料 3 に基づき事務局より説明をし、下記のとおり議論を行った。

- ・地域活動への参加のきっかけが年代によって違うことは興味深い。
- ・地域活動や市民活動をしている人は、活動場所を欲している。
- ・調査結果を公表する際には、自由記述欄の記載事項をテーマごとに分類してはどうか。
- ・老人憩いの家の使用制限（高齢者限定等）を撤廃し、自由に使えるようにしてほしい。自由に使えるのであれば、NPO 等に使ってもらえるようになる。
→ 地域の運用、使用制限については交通整理が必要である。
- ・中間支援機能の役割に地域資源を見直し、活動の拠点を掘り起こすことを位置づけてはどうか。
- ・知識や技術を活かす場が少ない。知識や技術を活かせるような登録制度を構築してはどうか。

以上のことを踏まえ、委員長がつぎのとおりまとめた。

- ・眠っている活動場所（空き店舗等）や知識や技術をもった人材の掘り起こしを中間支援を担うコーディネーターが現場を歩いて確認しながら行っていくことが重要である。

(3) 協働ラベリングの運用について

- ・資料4に基づき事務局より説明をし、下記のとおり議論を行った。
 - ・事務事業名をみただけでは、内容のイメージがわきにくい。
 - 事務事業名の後に、一文説明があるとよいのでは。
 - 公表に向けて、表記の仕方は今後の検討課題である。
 - ・係ごとにカルテのような形でとりまとめるとよいのでは。点数、改善点、特だし事業等をまとめてはどうか。
 - ・公表はインターネットのみでは問題。紙で公表することも大切ではないか。
 - ・協働推進職員が関われるツールとして、協働ラベリングを使用してはどうか。
 - ・市民協働課と各部署のヒアリングの内容によって、協働推進の影響に大きく関わる。
 - ・計画に例として掲載する事務事業一覧は、わかりやすい内容に修正する。

(4) 計画策定終了について

- ・2月23日（火）13時、委員長より市長へ答申予定。完成した計画書は3月中に委員の皆様へ送付予定。

3. その他

次回 平成28年度に入ってからご案内予定